

## 今後の活動予定とお知らせ

2005年度は、本学内外の卓越した研究成果の情報発信活動の一貫として、以下の研究集会を本院が主催する予定です。なお当日講演プログラムなど開催の詳細につきましては、ポスターや本院ホームページからの案内を予定しています。皆様奮ってご参加ください。

### 2005年度高等研究院スーパーレクチャー

開催予定日：2005年9月8日(木)

開催場所：野依記念学术交流館2階 カンファレンスホール

開催目的：

世界トップレベルの研究者による講演(招待レクチャー)と高等研究院教員の研究成果の発信(高等研究院レクチャー)を通じて、国際的に最先端をゆく学術活動の一端を、広く一般社会に伝える。

招待レクチャー：

益川敏英(京都産業大学教授・京都大学名誉教授)

「真理へのアプローチ、媒介項は何か」

高等研究院レクチャー：

岡田 猛(教育発達科学研究科・教授)

「芸術家の創作過程」

家森信善(経済学研究科・教授)

「東海地域の金融システムの特徴と課題：名古屋の金利はなぜ低い？」

有本博一(元理学研究科・助教授、現東北大学・教授)

「多剤耐性菌と闘う」

楠見明弘(元理学研究科・教授、現京都大学・教授)

「細胞中の1分子を見る、触る」

丹羽公雄(理学研究科・教授)

「顕微鏡でニュートリノの種類を見分ける」

### 2005年度高等研究院フォーラム

開催予定日：2005年11月25日(金)

開催場所：野依記念学术交流館2階 カンファレンスホール

開催目的：

高等研究院の研究成果を広く学内外に発信するとともに、ある特定の研究テーマに主眼をおき、専門的、および学際的な視座に立って知力の触発と融合を目指す。これによって、その分野の科学を今後リードする研究の方向性を討議・模索する。

開催テーマ：

「アジアの共通理解と総合的支援体制」

アジアの特徴は、その多様性にある。アジアを構成する国々では、政治・経済体制、歴史的・文化的背景、教育システム、宗教などが、それぞれ大きく異なっている。また、多くの国々は発展途上にある。アジアで先頭を走る日本には、それらの国々に多角的な支援を行うことが大いに期待されている。そのためには支援する国とされる国の間での相互共通理解が不可欠である。高等研究院と本学を代表する、法律、経済、歴史、社会、教育などの専門家たちが、アジアの共通理解の進展と、それをふまえたアジアの総合的支援体制の確立について、多角的かつ徹底的に討論する。

講演者：

近藤孝弘(教育発達科学研究科・助教授)

「東アジアにおける歴史問題の社会的メカニズムの解明」

田中重好(環境学研究科・教授)

「文化の翻訳：アジアにおける「公」と「私」の概念の比較」

鮎京正訓(法政国際教育協力研究センター・教授)

「アジア法整備支援：体制移行国に対する法整備支援のパラダイム構築」

多和田眞(経済学研究科・教授)

「東海地域の産業クラスター分析と東アジアの産業クラスターの形成」

中西 聡(経済学研究科・教授)

「災害復旧を通じた近代化：関東大震災と百貨店」

## 「高等総合研究館」利用者の募集について



高等研究院の研究スペースと運営本部は、平成16年度より「高等総合研究館」(Institute for Advanced Research Hall: 通称IAR Hall)に確保されました。また平成17年度6月現在において20研究グループが既に入居を完了しています。IAR Hallには空きスペースが引き続き確保されているため、本建物利用に関わる全学公募を本年度は随時受け付けています。この建物を基盤として各入居者と連携し、高等研究院と本館の運営方針を固めていくだけでなく、今後も本学の卓越した研究プロジェクトを重点的に推進していく予定です。なお、本募集内容や公募範囲面積、その他建物利用に関わる詳細につきましては、高等研究院ホームページ(<http://www.iar.nagoya-u.ac.jp>)で全学に向けて公開中です。皆様からの積極的な応募をお待ちしております。

平成17年6月末日現在の空スペース：

- B1F共同実験室：280m<sup>2</sup>
- 3F共同実験室：418m<sup>2</sup>
- 3F共同研究室311号室：44m<sup>2</sup>

## 人事について

第三代院長の後藤俊夫教授は、平成17年3月31日付で退任されました。この異動に伴い、副院長の北住炯一教授(法学研究科)が、平成17年4月1日付で第四代院長に、また、運営推進委員であった奥村隆平教授(経済学研究科)が、副院長に任命されました。新たな運営推進委員として、平成16年12月1日から山本進一教授(理事、生命農学研究科)、平成17年4月1日から大西昇教授(情報科学研究科)にご参画いただいています。

本院に関する詳細につきましては、高等研究院ホームページ  
(URL:<http://www.iar.nagoya-u.ac.jp>)をご参照下さい。  
このURLから2004年版 高等研究院パンフレットもご入用になれます。